



伊丹市立幼児教育センター通信

# ときめき ひらめき

Vol 18 (令和6年3月)  
発行: 伊丹市立幼児教育センター  
住所: 伊丹市千僧 1-1  
電話: 072-780-2488  
アドレス:  
youkyosenta@city.itami.lg.jp

## ★完成! 「伊丹市新人保育者のガイド『保育のあゆみ』」

伊丹市幼児教育センターでは「新任保育者自身が少しでも自分なりに見通しが持てたり、分からないことや不安なことを解消したりできる『より所』となる資料があればいいのではないかと考え、新任保育者向けのガイドを作成しました。

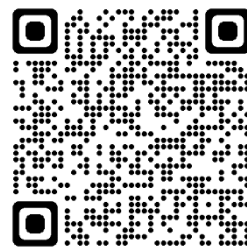
本ガイドでは、保育計画、環境の構成など保育の中でおさえておきたい内容を確認するとともに、現在2、3年目の保育者に新任の時に困ったことや不安だったことを聞き取り、内容に反映しました。

新任保育者の保育の参考としてのガイドですが、新任保育者を育成する立場の先輩職員の方にも、新任保育者指導の参考に活用いただければ幸いです。



内容は、

- ・子どもの1日の園生活の流れに沿った保育者の役割のポイント
  - ・0歳児～5歳児までの1年の育ちの姿の目安一覧
  - ・保育室の環境の構成案(乳児・幼児別)
  - ・Q&Aコーナー
- ・・・などだよ。ぜひ見てね!!



新任ガイド  
QRコードは  
←こちら!



日本教育新聞  
R6.2.12号にも  
掲載されました!

乳幼児期の子どもと共に生活をし、一人一人の子どもの成長を目の当たりにできる保育者の仕事は尊いものです。その分、一筋縄ではいかず、悩みや迷いも多いものですが、幼児教育センターはそんな先生方よりどころとなり、常にみなさんとともに保育を考えていきたいと願います。

# 今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の 在り方に関する有識者検討会 ～伊丹市幼児教育体制整備の報告～

本年 1 月、文部科学省において「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」が設置されました。

この会の主な論点は、①現行の幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく教育活動の実施状況、成果及び課題の検証②必要な条件整備 です。

委員は座長の無藤隆先生はじめ、秋田喜代美先生、汐見稔幸先生、大豆生田啓友先生・・・と、幼児教育・保育界のトップの先生方です。

その第 5 回(予定)、3 月 21 日に本市 木下教育長と幼児教育推進課長 矢田が市の体制整備について 10 分程度、発表をします。3 法令が同時改定され 6 年が経過し、この検討会での議論の成果が次の改訂や今後の施策に反映されていきます。

年度末の忙しい時ではありますが、ご都合があれば、オンラインで傍聴ください。今後の幼児教育・保育についての国レベルでの議論は大変参考になることと思います。(文科省の傍聴予約受付フォームから申込可能です。詳しくは、右の QR コード(文科省 HP)を参照してください。)



## ★センター備品 「ポケットーク」 について(お知らせ)★

今年度、幼児教育センターの備品として「ポケットーク」を購入しております。「ポケットーク」とは、互いに相手の言葉を話せない人同士の会話を可能にするポケット翻訳機です。新入所、入園の季節です。外国籍の保護者への施設説明や、子どもとのコミュニケーション等に活用できます。市内就学前施設に貸し出し可能です。詳細は幼児教育センターまでご連絡ください。

## ★おススメ保育専門書

「今、この子は何を感じている？」

0歳児の育ちを支える視点」

監修:無藤 隆・宮里 暁美・大方 美香  
発行:ひかりのくに



「写真と記録から浮かび上がってくる『その時のその子の心もち』に思いを馳せながら、子どもが育つとはどういうことなのか、を考え学ぶことができます。「0歳児保育のお悩みQ&A」・・・よくあるお悩みに保育のスペシャリストがお答えしています。

第10回 幼児教育研修会の講師  
波多江みゆき先生が紹介されていた  
人権絵本 6 冊が揃いました。

いつでも借りに来てください。

「こどもジェンダー」  
「ピンクはおとこのこのいろ」  
「あおいくんのかみかざり」  
「ええやん そのままで」  
「りつとにじのたね」  
「せかいでさいしょにズボンをはいた女の子」